

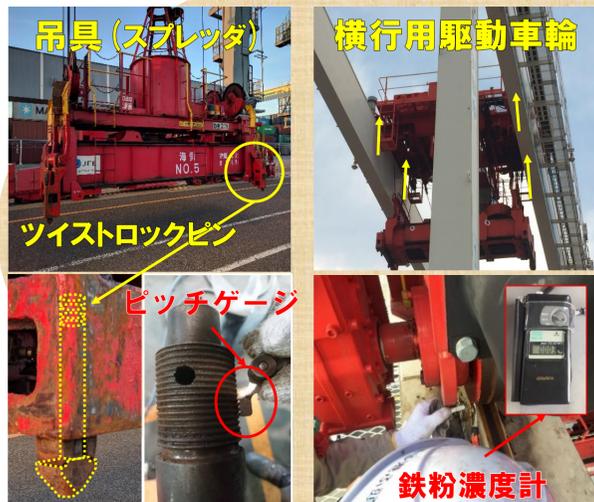


優秀賞

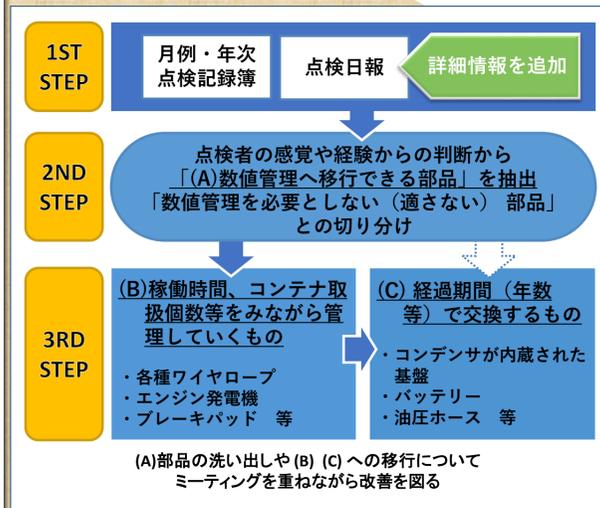


【港湾荷役機械】

【数値管理手法の一例】



【取り組み姿勢】



港湾・海岸分野

安全・安定を目指した新たなメンテナンス手法

港湾荷役機械の劣化故障の減少のための数値管理手法

取組概要

港湾荷役機械に使用される部品は、メーカー基準等に基づき交換するものの他、「点検者の経験や感覚」により交換する部品も多い。しかし、感覚に頼った判断では部品劣化による故障を確実に防ぐことは困難であるため、数値管理による判断へ移行させる取り組みを進めている。

受賞理由

点検者の感覚や経験によって左右されがちな部品交換の判断について、ゲージ測定による取付部ネジ山の摩耗やグリス中に含まれる鉄粉量からベアリングの劣化状況を判定する等、数値による管理基準を確立した先駆的な取り組みであり、全国の港湾荷役機械への展開も期待できる点が評価された。

取組のポイント

港湾荷役機械に使用している部品の交換については、メンテナンス基準やガイドラインに基づき交換する部品の他、「ガタつきの大小・音・色等の点検者の経験や感覚」により交換する部品があった。

しかし、感覚に頼った部品交換では、部品劣化による故障を確実に防ぐことは困難であり、点検者の判断のバラツキや経験不足により部品劣化を見抜けなかった点があると考え、計測器を用いた点検方法への見直しを行うことにより、部品劣化度を数値化する取り組みを進めている。

また、「その部品をいつ交換したか」程度の記録から「交換のきっかけ・整備種別・メーター・状況」などの詳細情報を記録するための体制作りを進めたうえで、これら情報を基に「交換頻度・劣化曲線・点検のし易さ」なども勘案しながら数値管理へ移行すべき(または可能な)部品を抽出する取り組みも行っている。

受賞者について



受賞者

博多港ふ頭株式会社
メンテナンス事業部長 日吉一洋

コメント

この度は、大変名誉ある賞を頂きありがとうございます。関係者一同、日々のメンテナンス業務への励みになると喜んでおります。

引き続き、港湾荷役機械製造メーカーや他の港湾管理者とも情報共有しながら、港湾荷役機械の劣化故障を減少させるための努力を続けて参ります。

団体概要

公共港湾施設を民間型経営で管理運営する会社として平成5年に誕生した当社は、博多国際コンテナターミナルの管理運営を軸に各種業務を行っております。

港湾荷役機械のメンテナンスについては、直営でのメンテナンスを実施することで、技術力・ノウハウを蓄積し、質の高いサービスを提供しております。

問い合わせ先

博多港ふ頭株式会社
メンテナンス事業部長 日吉一洋
092-681-1040/
k-hiyoshi@hakatako-futo.co.jp
メンテナンス事業部技術調査課長 重富康文
092-681-1040/
y-shigetomi@hakatako-futo.co.jp